

議事要旨(5) 収益認識基準の開発に関する意見募集の検討

小賀坂副委員長及び板橋ディレクターより、収益認識基準の開発に関する意見募集の検討について、審議資料に基づき説明がなされた。

説明に対する委員及びオブザーバーからの主なコメントと、それらに対する事務局からの回答は次のとおりである。

総論

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - 今回の改善で意見募集文書全体のイメージが捉えやすくなった。今後は、より完成度を高めることを目指すよりも公表に向けた作業を進めた方がよいのではないかと。
- ある委員より、次のコメントがあった。
 - 「第1部 IFRS 第15号に関して予備的に識別している適用上の課題」と「第2部 IFRS 第15号の概要」の関係が理解しやすくなる工夫をしてはどうか。

第1部冒頭部分の改善について

- 複数の委員及びオブザーバーより、次のコメントがあった。
 - 論点の特徴及び関係するステップを同時に識別できるように目次が改善されている。また、「ステップと論点の関係について」のような要約が挿入され、フローチャートや図表を用いて理解を促す工夫が行われている。これらは、ボリュームのある本体部分への導入として有用であり、意見募集にふさわしい形に近づいてきたように感じられる。
 - 各論点で影響を受ける取引例を示した図表は、読者が自分に関係する論点を見過ごすリスクを考慮しても、読者の理解に資するメリットが大きいため、このまま残すべきではないかと。
- ある委員より、次のコメントがあった。
 - 取引例に基づく収益認識の5ステップのフローチャートでは単一の契約を出発点としているが、契約の結合も当該フローチャートの一部で示してはどうか。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- 契約の結合が必須との誤解を避けるとともに、単純化して理解を促進するために、契約の結合についてはフローチャートで示さないこととした。

「IV. 開示（注記事項）」について

- ある委員及びオブザーバーより、次のコメントがあった。

- 記載例の充実や図表内の具体的数値の追加は、読者が理解するにあたり有用である。

以 上